

シンガポール国立美術館学芸員によるベトナム美術講座

2017年3月18日（土）15：00－16：30

会場：福岡アジア美術館 交流スタジオ（8階）

講師：フィービー・スコット氏（シンガポール国立美術館 学芸員）

福岡アジア美術館はシンガポール国立美術館と2010年に相互協力協定を締結し、これまでに所蔵品の貸借展示などさまざまな連携を行ってきました。今年度は、同館のベトナム美術専門の学芸員フィービー・スコット氏（写真右）が、当館所蔵のベトナム美術作品や資料の調査を行なうため、福岡に滞在されます。この滞在にあわせて、ベトナム美術講座を開催いたします。



美術作家から革命家へ

— 植民地時代から共産主義時代（1945-1954）の北ベトナムにて

第一次インドシナ戦争（1946-1954年）が起きた時、北ベトナムの美術作家の多くは、フランスによる占領に立ち向かう共産主義革命を支持し、共に闘いました。しかしこうした美術作家の多くは、フランスが設立した植民地時代の美術学校で1920年代から40年代にかけ教育を受けた人々でした。美術作家たちは、物資が欠乏し、危険と背中合わせで、さらに思想的な操作も強まる戦時下において作品をつくり続けました。そして複雑かつ新しい社会的・政治的地平を形づくる過程で、植民地時代の教育を見直し、自らの作品や展覧会、そして美術教育との向き合い方も再考しなければなりませんでした。

美術作家たちはどのようにして社会の革命に参加していったのでしょうか？ このトークでは、北ベトナムのベトミン支配地域で活動していた美術作家やその生徒たちが経験したことを見つめます。



ブイ・シュアン・ファイ（1920-89年）

革命的芸術文化誌『*Văn nghệ*』の表紙



グエン・シイ・ゴック《扇》1951年

漆絵、80 x 60 cm、ハノイ美術館所蔵

参加費：無料 ※逐次通訳

主催：福岡アジア美術館

問合せ：福岡アジア美術館

福岡市博多区下川端町3-1

Tel：092-263-1100（代表）